

## Japanese

ベルビュー学区教職員組合 (Bellevue Educators Association) 会長 Allison Snowからのメッセージ

すでに何か月も公立学校の教員たちが公に訴えています。教師たちは生徒のためにできる限りの事をしてはいますが、それでも十分ではないという事実が心にのしかかる毎日を過ごしています。ベルビュー学区教職員組合は新型コロナウイルス拡大中多くの人々が苦しんでいることを受け止め、この前例のない時期を子供たちが学び成長できるよう教員への支援と資源の提供に尽くしてきました。

新型コロナウイルス感染件数とその数は過去最多を記録し、私たちのほとんどが身近な家族や友達をこのウイルスまたはウイルスに対応するための状況に奪われました。コロナウイルスのことを学ぶにあたり、コロナウイルスの変異種の事やワクチンの副反応、新たな影響についても学んでいます。それに加えて、アメリカの国や組織に深く根を下ろしている人種差別の問題にも直面し、教員や生徒そしてその家族を含む有色人種のコミュニティへの不平等な影響も認めざるを得なくなっています。多くの人々が感じている恐怖、疲労、そして士気喪失の度合いは高まるばかりです。

このような複雑で不確かな状況において、教職員組合は公立学校の教育の安全性と持続する機能性の範囲を確立しようとしています。教育システムは、それを営む人々から切り離しては存在できないものです。人としてのニーズや恐れをもった人々です。教職員組合として、私たちは教員のニーズや不安を示すように働きかけ、学区と協力しながら提示し解決する方法を探してきました。何が不安の源なのか意見が合わなくても、それを退けたり、軽んじたり、無視することは他人の人間性を奪う行為だと理解しなければいけません。このような行為は子供たちの心と意識の成長を育む責任のある業界において決して受け入れられるものではありません。

私はベルビュー学区のリーダーたちに、学区に勤めているスタッフの人間性を認めるよう要求します。彼らの現状の観点に同意せずとも、理解することに努めてください。私たちが共有している収益と義務を思い出してください。そして嫌悪感や溝を深め、お互いを敵視するような巧言を拒んでください。あなた方の教員は生徒をサポートすることに努力を惜しみません。しかし、そのために必要性なく人間としての威厳や命を脅かす要求をされるべきではありません。

新型コロナウイルスの大流行が始まった時から、私たち教職員組合は私たちの前にある複雑な問題を協力しながら解決していくことに熱心に取り組んでいます。ベルビュー学区のリーダーの方々にも同じことを懇願します。